



**2020年3月期  
第2四半期  
決算補足説明資料**

**2019年11月11日**

(証券コード6381 東証1部 機械)



	2020年3月期2Q		2019年3月期2Q		前年同期対比			2019年5月10日に発表した 予想値対比	
	実績 (百万円)	利益率 (%)	実績 (百万円)	利益率 (%)	増加額 (百万円)	増減率 (%)	利益率 変化 (P)	予想値 (百万円)	進捗率 (%)
売上高	19,535	—	19,318	—	216	1.1%	—	40,000	48.8%
営業利益	2,222	11.4%	2,319	12.0%	-97	-4.2%	-0.6	4,400	50.5%
経常利益	2,352	12.0%	2,599	13.5%	-246	-9.5%	-1.4	4,800	49.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,483	7.6%	1,651	8.5%	-167	-10.2%	-1.0	(通期) 3,100	47.8%
平均為替レート 円/\$	110.05	(実績)	108.68	(実績)	1.37	円/\$の円安			
平均為替レート 円/€	124.32	(実績)	131.64	(実績)	7.32	円/€の円高			
平均為替レート 円/RMB	16.20	(実績)	17.09	(実績)	0.89	円/RMBの円高			

(%) (P) は少数点以下  
第2位を四捨五入

- ・売上高は1.1%増収
- ・営業利益は4.2%減益
- ・経常利益は9.5%減益
- ・当期純利益は、10.2%減益

**増収・減益となりました。**

# 2020年3月期2Q 連結業績 損益計算書

	2020年3月期2Q		2019年3月期2Q		前年同期対比			2019年5月10日に発表した 予想値対比	
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	増加額 (百万円)	増減率 (%)	構成比率 変化 (P)	予想値 (百万円)	進捗率 (%)
<b>売上高</b>	<b>19,535</b>	<b>—</b>	<b>19,318</b>	<b>—</b>	<b>216</b>	<b>1.1%</b>	<b>—</b>	<b>40,000</b>	<b>48.8%</b>
売上原価	10,958	56.1%	11,030	57.1%	-72	-0.7%	-1.0		
売上総利益	8,577	43.9%	8,288	42.9%	288	3.5%	1.0		
販管費	6,355	32.5%	5,968	30.9%	386	6.5%	1.6		
<b>営業利益</b>	<b>2,222</b>	<b>11.4%</b>	<b>2,319</b>	<b>12.0%</b>	<b>-97</b>	<b>-4.2%</b>	<b>-0.6</b>	<b>4,400</b>	<b>50.5%</b>
営業外収益	327	1.7%	321	1.7%	6	2.0%	0.0		
営業外費用	197	1.0%	42	0.2%	155	367.6%	0.8		
<b>経常利益</b>	<b>2,352</b>	<b>12.0%</b>	<b>2,599</b>	<b>13.5%</b>	<b>-246</b>	<b>-9.5%</b>	<b>-1.4</b>	<b>4,800</b>	<b>49.0%</b>
特別利益	56	0.3%	4	0.0%	52	1136.8%	0.3		
特別損失	109	0.6%	55	0.3%	54	97.8%	0.3		
<b>税金等調整前純利益</b>	<b>2,299</b>	<b>11.8%</b>	<b>2,548</b>	<b>13.2%</b>	<b>-248</b>	<b>-9.8%</b>	<b>-1.4</b>		
法人税等	672	3.4%	741	3.8%	-68	-9.3%	-0.4		
非支配株主に帰属する 四半期純利益	143	0.7%	155	0.8%	-12	-8.0%	-0.1		
<b>親会社株主に帰属する 四半期純利益</b>	<b>1,483</b>	<b>7.6%</b>	<b>1,651</b>	<b>8.5%</b>	<b>-167</b>	<b>-10.2%</b>	<b>-1.0</b>	<b>3,100</b>	<b>47.8%</b>
平均為替レート 円/\$	110.05	(実績)	108.68	(実績)	1.37 円/\$の円安			(%) (P)は	
平均為替レート 円/€	124.32	(実績)	131.64	(実績)	7.32 円/€の円高			少数点以下第2位を四捨五入	
平均為替レート 円/RMB	16.20	(実績)	17.09	(実績)	0.89 円/RMBの円高				

①  
②  
③  
④

①売上高：前年同期比+216百万円増 前期までに連結子会社化したイタリア（第1四半期のみ）及び台湾の子会社による影響額は+372百万円。為替影響額は-429百万円。

②原 価：前年同期比原価率は1.0P減少。

③販売管理費：前年同期比+386百万円増加（販管費率1.6P） 上記①の新規連結会社分としては+142百万円。

④営業外収益/費用：前年同期の為替差益 39百万円は、差損148百万円に変化(その差 187百万円の利益減少)。

本日、2019年11月11日に、通期の業績に関する修正をリリースいたしました。  
 なお、中間期、期末の配当額につきましては、据え置きとし、2019年4月よりスタートしました、  
 3か年にわたる中期経営計画における計画値につきましても現段階での変更はございません。

●業績予想の修正について

2020年3月期通期連結累計期間業績予想の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(円)
前回発表予想(A)	40,000	4,400	4,800	3,100	74.27
今回修正予想(B)	39,000	3,800	4,000	2,400	57.50
増減額(B-A)	△ 1,000	△ 600	△ 800	△ 700	
増減率(%)	-2.5%	-13.6%	-16.7%	-22.6%	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期通期)	38,807	4,339	4,701	2,947	70.62

修正の理由

2020年3月期第2四半期連結累計期間におきましては、長期化する米中貿易摩擦やブレグジット問題などによる不透明な経済情勢、為替の影響を受けながらも、各種施策の実施、並びに日本における消費税増税前の駆け込み需要などにより同第1四半期以降では回復傾向となりました。一方で下期は、駆け込み需要に対する反動減や、混沌とした出口の見えない世界経済情勢を背景に、製造業における設備投資需要の減少などが懸念されることから、誠に遺憾ながら2019年5月10日に公表した2020年3月期通期の業績予想を上記の通り修正いたしました。

また、為替の状況を鑑み、第3四半期以降のレートを1ユーロ115円に変更いたします。

なお、同じく5月10日に公表した配当予想及び4月より3か年にわたりスタートしました中期経営計画の数値目標につきましては、従来予想から変更ありません。

(注) 業績予想については現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

単位：百万円

	2018年3月期実績		2019年3月期実績		2020年3月期予想値		
	実績	構成比	実績	構成比	目標額	構成比	
<b>売上高</b>	32,817	100.0%	38,807	100.0%	<b>39,000</b>	<b>100.0%</b>	
内訳	圧縮機	16,283	49.6%	21,212	54.7%	—	—
	真空機器	1,850	5.6%	1,841	4.7%	—	—
	エアエナジー事業部	18,133	55.3%	23,053	59.4%	<b>22,200</b>	<b>56.9%</b>
	塗装機器	12,073	36.8%	13,107	33.8%	—	—
	塗装設備	2,609	8.0%	2,645	6.8%	—	—
	コーティング事業部	14,682	44.7%	15,752	40.6%	<b>16,800</b>	<b>43.1%</b>
<b>営業利益</b>	3,824	11.7%	4,339	11.2%	<b>3,800</b>	<b>9.7%</b>	
<b>経常利益</b>	4,352	13.3%	4,701	12.1%	<b>4,000</b>	<b>10.3%</b>	
<b>当期純利益</b>	2,809	8.6%	2,947	7.6%	<b>2,400</b>	<b>6.2%</b>	
為替レート ¥/\$	112.19	(実績)	110.20	(実績)	105.00	(想定)	
為替レート ¥/€	126.67	(実績)	125.15	(実績)	<b>115.00</b>	(想定)	
為替レート ¥/RMB	16.63	(実績)	16.72	(実績)	15.50	(想定)	

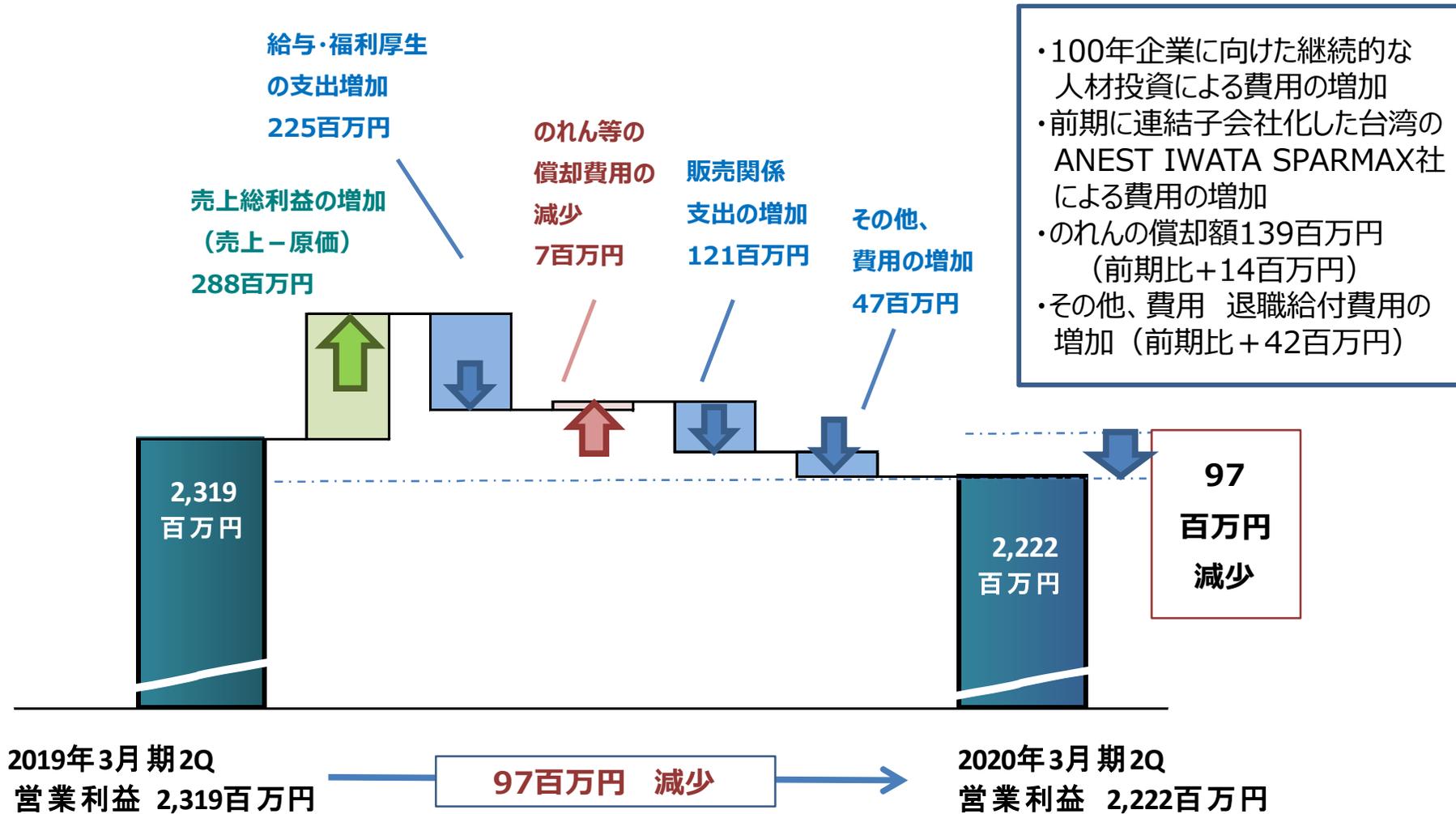
※配当について：2020年3月期は予想値です。

<b>配当</b> 中間期+期末=年間	10円+10円=20円	11円+11円=22円	12円+12円=24円
---------------------	-------------	-------------	-------------

※赤字：修正後の予想値。エアエナジー事業部の売上高を修正 23,500→22,200 (△1,300)  
コーティング事業部の売上高を修正 16,500→16,800 (+300)

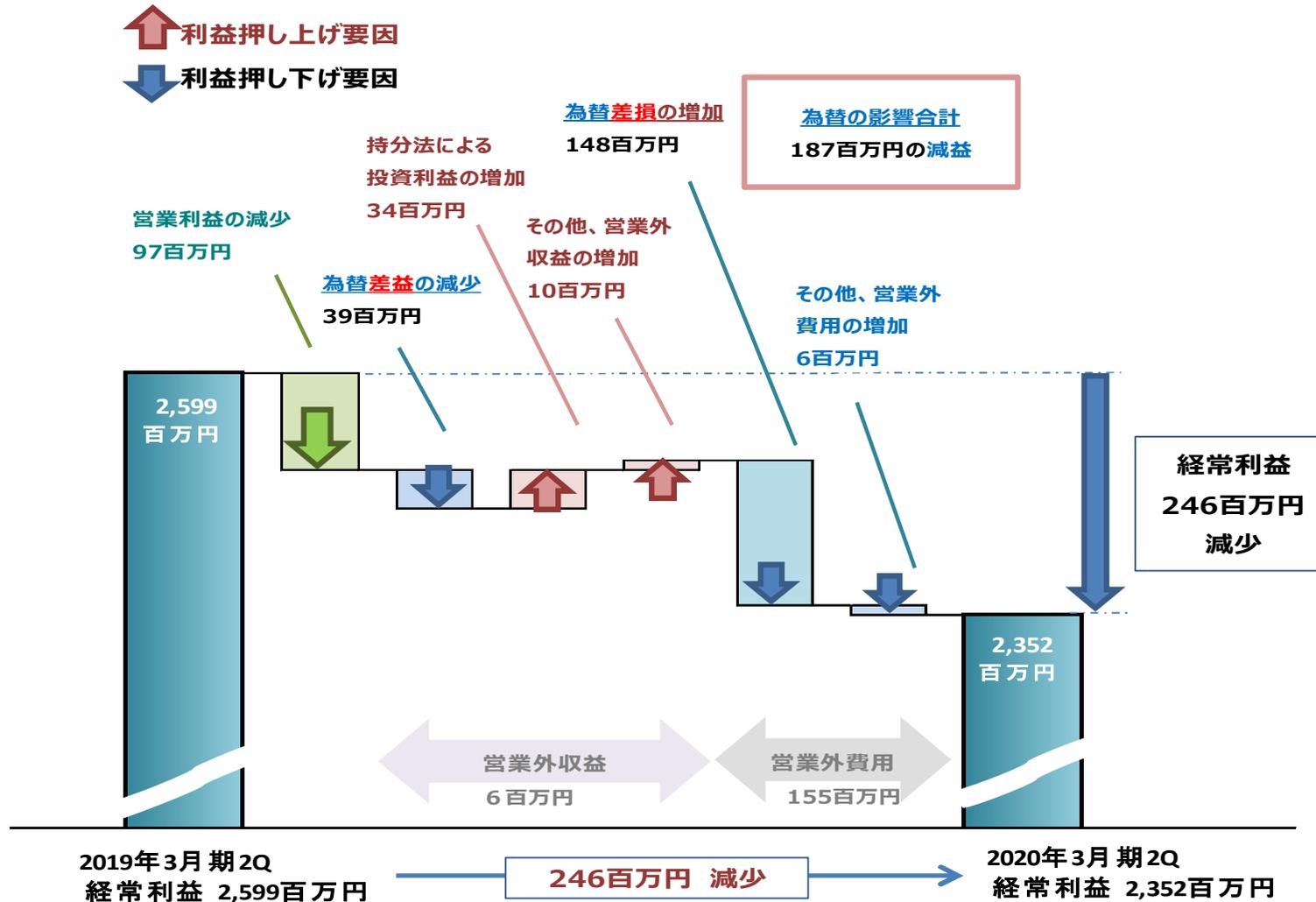
# 2020年3月期2Q 連結業績 営業利益の変動要因

記載している数値は、前期対比の増減額



# 2020年3月期2Q 連結業績 経常利益の変動要因

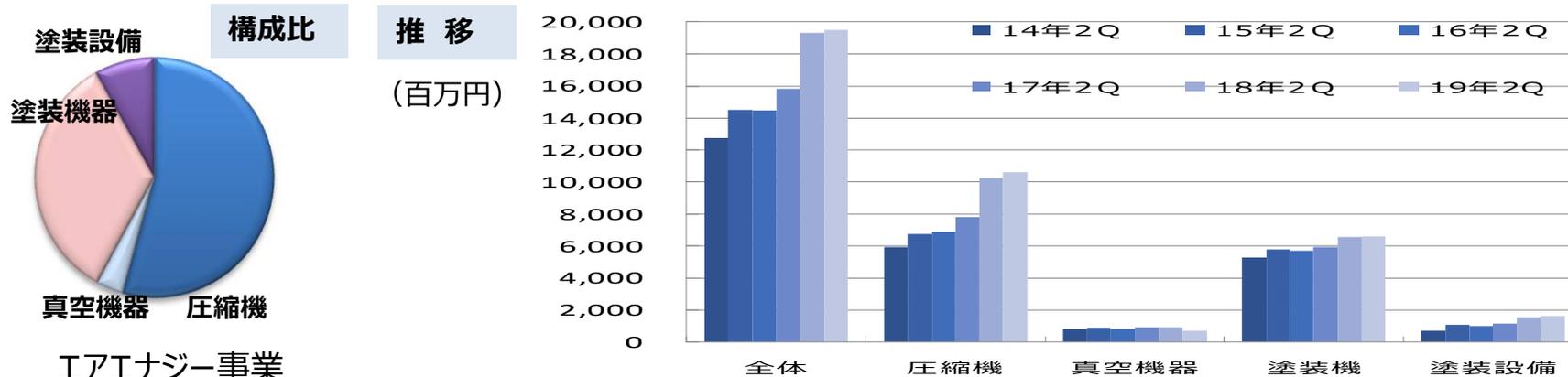
記載している数値は、前期対比の増減額



# 2020年3月期2Q 連結業績

## 売上高 製品別

		2020年3月期2Q		2019年3月期2Q		前期対比	増減
		売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
エアエナジー 事業	圧縮機	10,590	54.2%	10,287	56.5%	302	2.9%
	真空機器	727	3.7%	928	6.0%	-200	-21.6%
小計		11,317	57.9%	11,215	58.1%	102	0.9%
コーティング 事業	塗装機器	6,594	33.8%	6,541	36.0%	52	0.8%
	塗装設備	1,623	8.3%	1,561	2.6%	62	4.0%
小計		8,217	42.1%	8,102	41.9%	114	1.4%
合計		19,535	100.0%	19,318	100.0%	216	1.1%



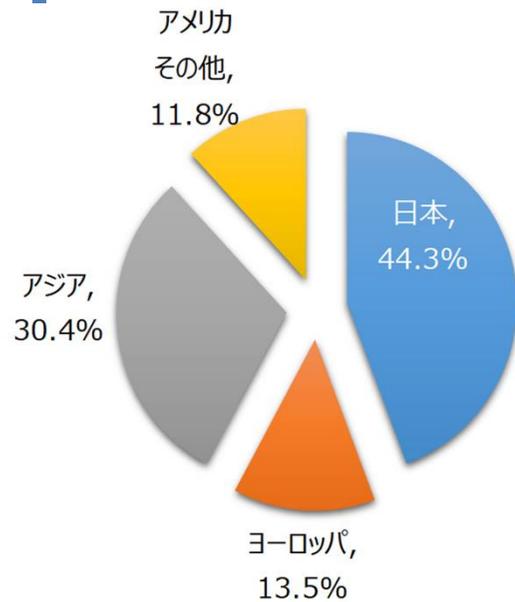
### エアエナジー事業

- ・圧縮機：前期に連結子会社化した台湾のANEST IWATA SPARMAX社の実績により増加。
- ・真空機器：1Qより減少傾向が続く日本、及び、その他地域を除く海外にて減少。

### コーティング事業

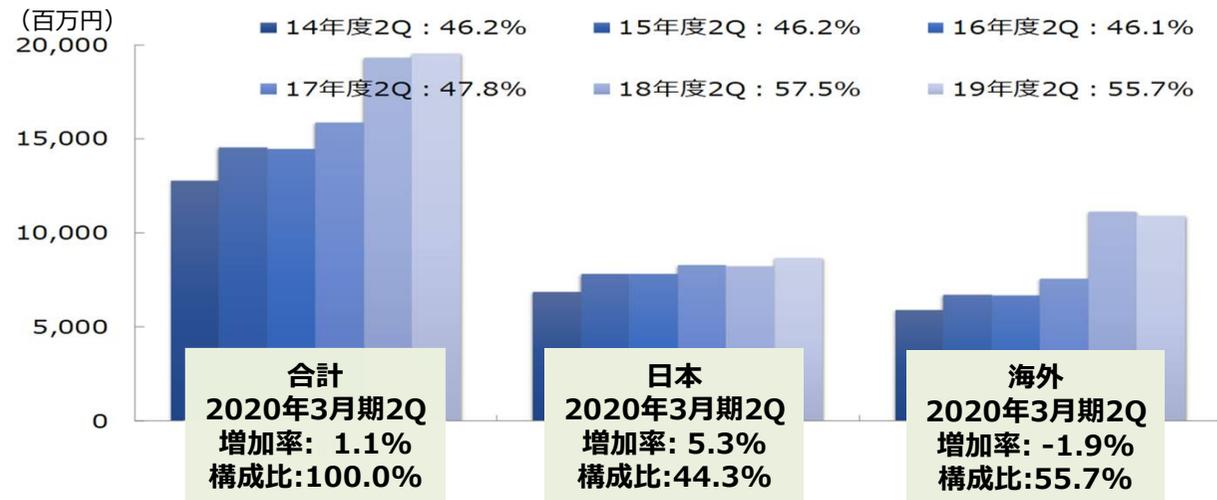
- ・塗装機器：日本、ヨーロッパの増加も、アセアンを主としたアジアの減少。
- ・塗装設備：日本の増加も、アジア、及びその他地域に含まれるアメリカにて減少。

### 売上高の地域別構成比

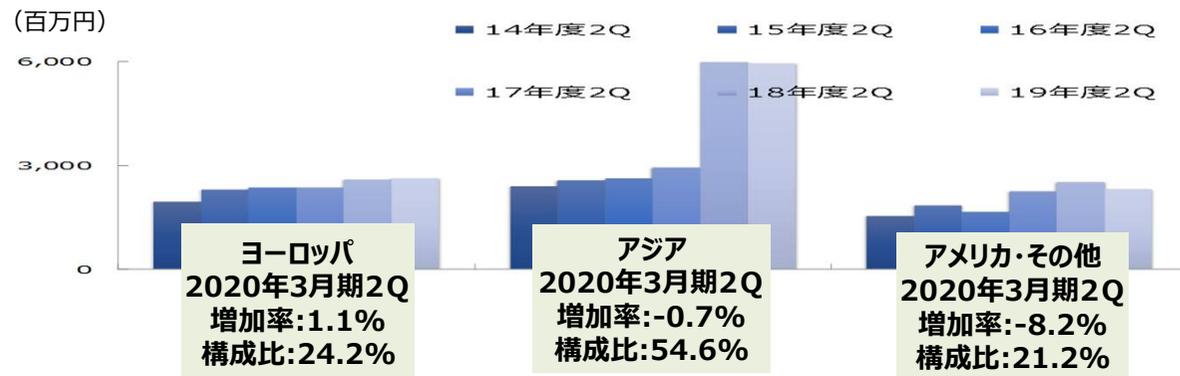


- \* 海外の売上高比率は、前年比で1.8P減少
- \* 日本は増加。海外では塗装設備が減少したアメリカ・その他、及びアジアで減少

### ● 日本と海外の売上高推移



### ● 海外の売上高推移（合計を100とする）



※納入地ベースでの実績換算をしています。

# 2020年3月期2Q 連結業績 売上高 製品/地域別の増減

	全体	エアナジ事業		コーティング事業		凡例
		圧縮機	真空機器	塗装機器	塗装設備	
日本	5.3%	△	X	○	◎	◎10%~
ヨーロッパ	1.1%	△	X	△	-	○3%~10%
アジア	-0.7%	○	●	●	●	△0%~3%
北米その他	-8.2%	▼	◎	▼	X	▼-0%~3%
海外計	-1.9%	○	X	▼	X	●-3%~10%
計	1.1%	2.9%	-21.6%	0.8%	4.0%	X-10%~

- ・日本では真空機器を除き増加。特に塗装設備の増加と増税前の駆け込み需要が影響。
- ・ヨーロッパでは、真空機器を除き、自動車補修市場向けプロモーションが奏功した塗装機器などが増加。
- ・アジアでは、前期に連結子会社化した台湾のANEST IWATA SPARMAX社による販売分である圧縮機が増加も、アセアンを主とした塗装機器及び塗装設備にて減少。
- ・北米その他では、アメリカにて真空機器が増加も、自動車補修市場にて塗装機器が減少。また、今期は塗装設備の物件がなく全体として大きく減少。

※納入地ベースでの実績換算をしています。

(百万円)	2020年3月期2Q	2019年3月期2Q	増減金額	前年同期比
日本	8,646	8,213	432	5.3%
ヨーロッパ	2,629	2,599	29	1.1%
アジア	5,947	5,987	-39	-0.7%
北米その他	2,312	2,518	-206	-8.2%
合計	19,535	19,318	216	1.1%

(百万円)

	設備投資額 売上対比	減価償却 売上対比	研究開発費 売上対比	売上高
2018年3月期  (実績)	2,458 7.5% (計画値 2,500) 実行率 98.3% ・各種工作機械、自動化設備等 ・製品開発 ・秋田、福島工場食堂リニューアル、 コミュニケーションラウンジ ・本社技術開発研究施設	1,238 3.8% (計画値 1,200)  103.2%	1,078 3.3% (計画値 1,200) 実行率 89.8% ・継続投資	32,817
2019年3月期  (実績)	2,080 5.4% (計画値 2,500) 実行率 83.2% ・各種工作機械、自動化設備等 ・製品開発 ・秋田、福島工場食堂リニューアル、 コミュニケーションラウンジ ・本社技術開発研究施設	1,618 4.2% (計画値 1,400)  115.6%	1,154 3.0% (計画値 1,200) 実行率 96.2% ・継続投資	38,807
2020年3月期  (2Q実績)	計画 2,500 6.3%  (705) 実行率 28.2% ・各種工作機械、自動化設備等 ・製品開発 ・IT関連投資 ・その他	計画 1,800 4.5%  (732) 40.7%	計画 1,200 3.0%  (468) 実行率 39.0% ・継続投資	40,000

注) 研究開発費は、研究開発に係る一般管理費と製造経費の合計です。

## フランス EMS 社との資本提携に関するお知らせ

この度、アネスト岩田株式会社（本社：神奈川県横浜市・代表取締役 社長執行役員 壺田貴弘）は、フランスの車両搭載用コンプレッサメーカーである EMS CONCEPT（以下「EMS 社」といいます）の持分を 14.8%取得し、資本提携をすることとなりましたのでお知らせいたします。

EMS 社は鉄道及び電動のバス・トラックといった商用車に搭載するコンプレッサの製造・販売を行う、フランス有数の圧縮機メーカーであり、確かな技術力と品質を活かし、フランスを中心とした欧州の車両メーカー向けに様々な圧縮機を供給しております。

この度の資本提携を通じて、当社グループは欧州向け車両搭載用圧縮機の製品ラインナップ拡大、生産体制の強化、並びに欧州規格への対応力を向上させ、欧州並びに欧州規格エリアの車両市場において、事業成長のさらなる加速を目指してまいります。

### 1. EMS 社の概要

名称 : E.M.S. CONCEPT SARL  
 設立年月日 : 1950 年  
 本社所在地 : 18 Rue du Maréchal Joffre, 67700 Saverne  
 事業内容 : 車両搭載用コンプレッサの製造及び販売  
 資本金 : 150,000 ユーロ（約 1,800 万円）  
 従業員数 : 40 名（2019 年 9 月現在）



### 2. 5 年後の車両搭載用圧縮機に関する売上計画

既存の当社グループにおける販売分と当社の圧縮機を用いて EMS 社で製造した製品の販売分を合わせて、年間 20 億円程度の売上を見込んでおります。

## 統合報告書 2019 発行



様々なステークホルダーの皆様へ、当社グループの事業活動をより深くご理解いただくことを目的として、従来の「環境・社会報告書」に代わり、初の制作・発行となりました。

## 将来見通しに関する記述、及びその他の注意事項

本資料で述べられております当社の将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。世界経済、為替レートの変動、業界の市況、設備投資の動向など、当社業績に影響を与えるさまざまな外部要因がありますので、資料に記載の内容とは異なる可能性があることをご承知おきください。

また、資料は投資家の皆様への情報伝達を目的としており、当社の株式、その他の有価証券等の売買等を勧誘又は推奨するものではありません。